

「論文」試験問題の解答のポイントと解答例

論文試験では、論題の趣旨を理解したうえで、設問に的確に答えることが求められ、そのポイントは次2点である。

- a. 論題の趣旨に合った解答が、600字～800字にまとめられているかどうか
- b. 表現の的確性、内容の深さ、趣旨の一貫性はどうか（筋が通っているかどうか）

解答のポイント

今年度の論文試験の論題は、「①このような状況のなかで、自分が考える ②これからの繊維製品品質管理士の役割と、③取り組むべき具体的な課題 を論じなさい。」であり、①～③の3つについての解答が求められている。特に、②「これからの繊維製品品質管理士（TES）の役割」と、③「具体的は課題」には、①「自分が考える」内容が記述されていることがポイントである。②の「これからの」は、①の「このような状況のなかで」と関連させる。

本論題で問うているのは、これからの TES の役割と、取り組むべき具体的な課題についてであり、「役割」と「課題」はそれぞれ別に解答することを求めている。「対策」は問うていない。激変している社会現象の単なる説明や個人的な感想は、評価の対象外である。

記述に当たっては、濃い鉛筆ではっきりと文字を書くなど、他人が見て読みやすいよう心掛ける。誤字、脱字、当て字のないようにする。試験前の「注意」の中で説明された「書き方」に従う。一般に論文試験では、箇条書きは相応しくないとされる。論題と関係のないことが書かれている場合（職歴、受験動機など）は、字数を増やすためとみなされる。

解答例

論題の捉え方や役割と課題については受験者によりいろいろな考え方があるので、決まった正解はない。可否は、採点基準に合致しているかどうかによる。

答案には、論題の趣旨に合っていることと、全体として筋が通っていることが求められる。

解答例は、論題の趣旨を理解した上で、論旨をどう展開していくかの参考として示す。解答例はまず、大きく変化している環境の状況を述べ、改行して、私が考えるこれからの繊維製品品質管理士の役割について述べ、さらに改行して、これらの役割に対して取り組むべき具体的な課題について、私の考えを述べている。

[解答例]

我々をとりまく環境は非常に速いスピードで大きく変化している。環境面では、サステナブル社会の形成を前提としたプラスチック製品の生産や排出に関する規制が進み、繊維産業における流通・販売ではEC化も進み、その形態は多岐にわたってきている。

まず、このような状況下で、私が考えるこれからの繊維製品品質管理士の役割について述べる。環境面では、繊維製品をどのようにして持続可能な素材に変容させるべきかを提案し、これを社会に知らしめることが役割である。また、EC化をもとにした繊維産業における流通・販売では、消費者に製品の品質を正しく伝えることが役割である。

次に、これらの役割に対して取り組むべき具体的な課題について、私は以下のように考える。環境面から考えた際、多くの繊維製品は、異種の繊維素材が組み合わせられて作られていることがほとんどであることから、リサイクル率を上げることが困難である。これをいかにして分別可能な構成にするかは課題である。また使用する各素材において、環境を配慮したサステナブル素材をどのように使用していくかは課題であ

る。そしてこれらの情報をもとにして、消費者が繊維製品を購入する際に環境を意識できるようにすることも繊維製品品質管理士に求められる課題である。一方、ECにおける流通・販売では、商品を直接目で見たり触れたりして購入することが出来ないため、消費者に正確な情報を伝える手段として、どのようにして物性、機能などの数値化を行うかが課題であり、消費者が購入する際に求める情報を、アンケートなどを利用して知ることも大きな課題である。